

「正々堂々誇れるレースを」

第二十八回全国高校選抜

ボート大会（日本ボート協会、全国高体連、浜松市、中日新聞社、大会実行委員会主催）の開会式が十七日、浜松市天竜区の市天竜壬生ホールであった。全国九地区の予選を勝ち抜いた選手らが大会舞台での活躍を誓った。

出場選手を代表し、京都市伏見工業高二年の遠山秀雄選手（セ）と、鳥取県鳥取商業高二年の谷口舞選手（ニセ）が「今ここで戦えることに感謝し、支えてくださった方々に誇れるよう正々堂々とレースすることを誓います」と宣誓した。

競技は天竜区月の市天竜

天竜で全国高校選抜ボート開会

ボート場で十八、二十日、男女のシングルスカル、ダブルスカル、かじ付き四人スカルの計六部門で行われ、全国九十六校の百四十四クルーが競う。県勢では浜松北、浜松西、浜松湖南など六校の計九クルーが全国の強豪に挑む。

式に先立ち、バルセロナ五輪などに出場した仙台大漕艇部監督の阿部肇さん（五）と、リオデジャネイロ五輪に出場した大石綾美さん（ニセ）がアイリスオーヤマが登壇。阿部さんは「評価を気にせず自分のパフォーマンスと向き合って」と激励した。

大石さんは「二〇二〇年

に東京五輪がある。強い気持ちを持てば夢はかなう。一緒に頑張りましょう」と呼び掛けた。

選手宣誓をする遠山秀雄選手（セ）と谷口舞選手（ニセ）
17日午後、浜松市天竜区の市天竜壬生ホールで

